

繰り返し読みたい本 10

何度も読んで血肉にしたい  
古今東西のビジネス書の名著

土井英司 ● ビジネス書評家

一万冊以上のビジネス書を読んできて、繰り返し読む座右の書は、  
一、「内容に物語性がある」と、二、「読むたびに新たな発見がある」と、三、「自らを戒め、鼓舞するのに役立つ」書だと確信している。  
チェックしたい条件は、著者自

身あるいは取材対象がテーマの全プロセスを経験し、失敗も成功も体験していること。書き方としては、普遍のエピソードと書き手の哲学が盛り込まれていることだ。

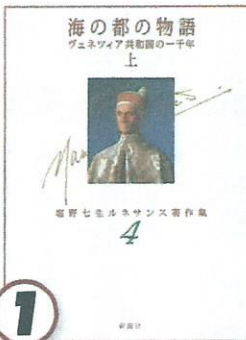
アマゾン日本サイト立ち上げに参画し、エリエス・ブック・コンサルティング代表に、「伝説の社員」になれ!!」など著書多数。



3 **ビジネスマンの父より息子への30通の手紙**  
キングスレイ・ワード 著  
父の愛情と、ウィット  
のきいた警句、励まし  
が読ませる。若手必読



2 **君主論**  
ニコロ・マキアヴェッリ 著  
上に立つ者が学ぶべき  
政治と人心掌握術。著  
者の箴言が心に響く



1 **海の都の物語**  
塩野七生 著  
盛者必表のからくりが  
明らかに。英雄たちの  
物語も読み応え十分

4 <b>影響力の武器</b> ロバート・B・チャルディーニ 著	人の心を動かし、ノーと言わせない6つの心理学の原理が学べる
5 <b>私はどうして販売外交に成功したか</b> フランク・ベトガー 著	カーネギーが絶賛した営業本の名著。豊富なエピソードも楽しめる
6 <b>人生と財産</b> 本多静六 著	一大資産を築き上げた本多静六が綴る、人生と財産の貴重な指南書
7 <b>相場師一代</b> 是川銀蔵 著	「機を見るに敏」はビジネスマン必須の資質。伝説の相場師に学ぶ
8 <b>経営に終わりはない</b> 藤沢武夫 著	本田宗一郎の名補佐役、藤沢武夫が人を支え、勝たせる術を説く
9 <b>こころを動かすマーケティング</b> 魚谷雅彦 著	日本コカ・コーラの成功の舞台裏とマーケティングを知る貴重な本
10 <b>世界一わかりやすい在庫削減の授業</b> 若井吉樹 著	NECで在庫3000億円削減を成功させた著者が語る在庫管理のツボ

そこで、まず著者のプロフィールを吟味する必要がある。質に転換できるほどの量をこなしているか、厳しくチェックしたい。

『海の都の物語』は、「ローマ人の物語」と並ぶ、塩野七生の代表作。ヴェネツィア共和国繁栄の秘密が、壮大な歴史物語として綴られる。なぜヴェネツィアはライバルに勝てたのか、なぜトルコ、フランスに敗れたのか。経済活動での情報や戦略の重要性、外交、国内システム、動機づけなど、経営に必要な視点を与えてくれる優れた教養書だ。読めば現在の中国の台頭、日本にはびこる平和主義と個人主義の問題の本質がわかる。

二位は『君主論』だ。君主には、価値あるものを攻撃から守るだけの知恵がなくてはならない。この本には、そんな君主が学ぶべき政治と人間の真理、君主としての資質が説かれている。人の上に立つ人間の必読書だろう。

一方、若手に読んでほしい自己啓発書が『ビジネスマンの父より息子への30通の手紙』。カナダ人実業家が息子に書いた手紙を出版社が見つけ、出版したという名著。会社での振る舞いから部下の扱い方、結婚、事業拡大まで、あらゆるトピックを網羅している。

一〇位の『世界一わかりやすい

在庫削減の授業』も若手向き。地味だが、確実に利益に貢献できる在庫削減を、NECで成功させた著者が授業形式で指南する。

営業マンに薦めたいのが『私はどうして販売外交に成功したか』。時間管理術や、人の心をつかむための心構えがエピソードとともに楽しめる。『影響力の武器』は「社会心理学のバイブル」。人を動かす資質と技術を学べる。

日本コカ・コーラでCEOを務めた著者の「こころを動かすマーケティング」もいい。飽和状態と見られていた「ジョージア」のシェアを拡大させた、感動のマーケティング秘話を語っている。マーケット、営業マンは必読だ。

最後に紹介するのは古典的名著三冊。『人生と財産』は明治の大富豪、本多静六による珠玉の名作。財産を築くための心構えから、学問や仕事への姿勢、人生設計まで広く学べる。『相場師一代』は投資センスを磨きたい人にうってつけ。『最後の相場師』とうたわれた伝説の男、是川銀蔵の自伝だ。

『経営に終わりはない』は本田宗一郎の右腕、藤沢武夫が、人を支える方法、勝たせる方法を説いた。名参謀になりたい人をはじめ、多くの人に繰り返し読んでほしい一冊といえるだろう。